

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補足

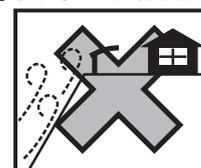
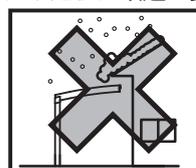
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪(新雪)20cm(600N/m²)を超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。



お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・フーゴパーク(波板)を施工する場合は、本取付説明書と合わせて下記の取付説明書もご確認ください。
※「フーゴF/ネスカF 独立テラス・ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書(D586)」
※「フーゴR/ネスカR ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書(D587)」
※「フーゴA ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌 取付説明書(D589)」

<基礎工事について>

⚠ 注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込深さを確保してください。
- ・コンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食の原因になります。
- ・コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。
- ・設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ(地耐力等)、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
- ・本書の基礎サイズは地耐力を100kN/m²として記載しております。

<基礎工事について> (つづき)

▲ 注意

- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石などを敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内に水が溜まると凍結膨張や腐食により柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

<施工上のご注意>

▲ 注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に堅樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。堅樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・製品の強度低下、またはケガのおそれがありますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後ゆるみがないか確認してください。
 - ※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - ※φ6ネジ：8.0N・m±0.5N・m(80±5kgf・cm)
 - ※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m(200±5kgf・cm)

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

<施工の後に>

▲ 注意

- ・ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

INDEX

■ 表示マーク	3	■ 本体の施工	15
■ 施工の流れ	3	■ 基本の場合	15
■ 梱包明細表	4	■ 連棟の場合	15
■ 各部の名称	5	■ パーク(波板)の取付け	17
■ 基本寸法図	6	■ 1 端部柱の建込み(Aスタイルの場合)	17
■ 単独施工	6	■ 1 端部柱の建込み(F・Rスタイルの場合)	18
■ 縦連棟施工	8	■ 2 背面サイドパネルの取付け	19
■ 1 基礎寸法の確認	9	■ 3 側面サイドパネルの取付け	22
■ 事前準備	10	■ 4 セーフティーキャップの取付け	22
■ 縦枠(端部柱側)の加工	10	■ 5 波板の取付け	23
■ 端部柱の加工	10		
■ フーゴAパーク部材の加工	11		
■ フーゴRパーク/Fパーク部材の加工	12		
■ 側枠の加工(端部柱取付け用)	13		
■ 前枠・母屋・後枠の加工	14		
■ 上棧・中棧・下棧の加工と連結スリーブの取付け	14		

表示マーク



Fスタイルを施工の場合



Rスタイルを施工の場合



Aスタイルを施工の場合



独立基礎で
施工の場合



偏心基礎部材を使用して
施工する場合

施工の流れ

補 足

- ・本体を施工した後に、パーク(波板)の取付けを行なってください。
- ・本体の施工は各取付説明書を参照して施工してください。



【フーゴFを施工の場合】

フーゴF/ネスカF 独立テラス・ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書(D586)



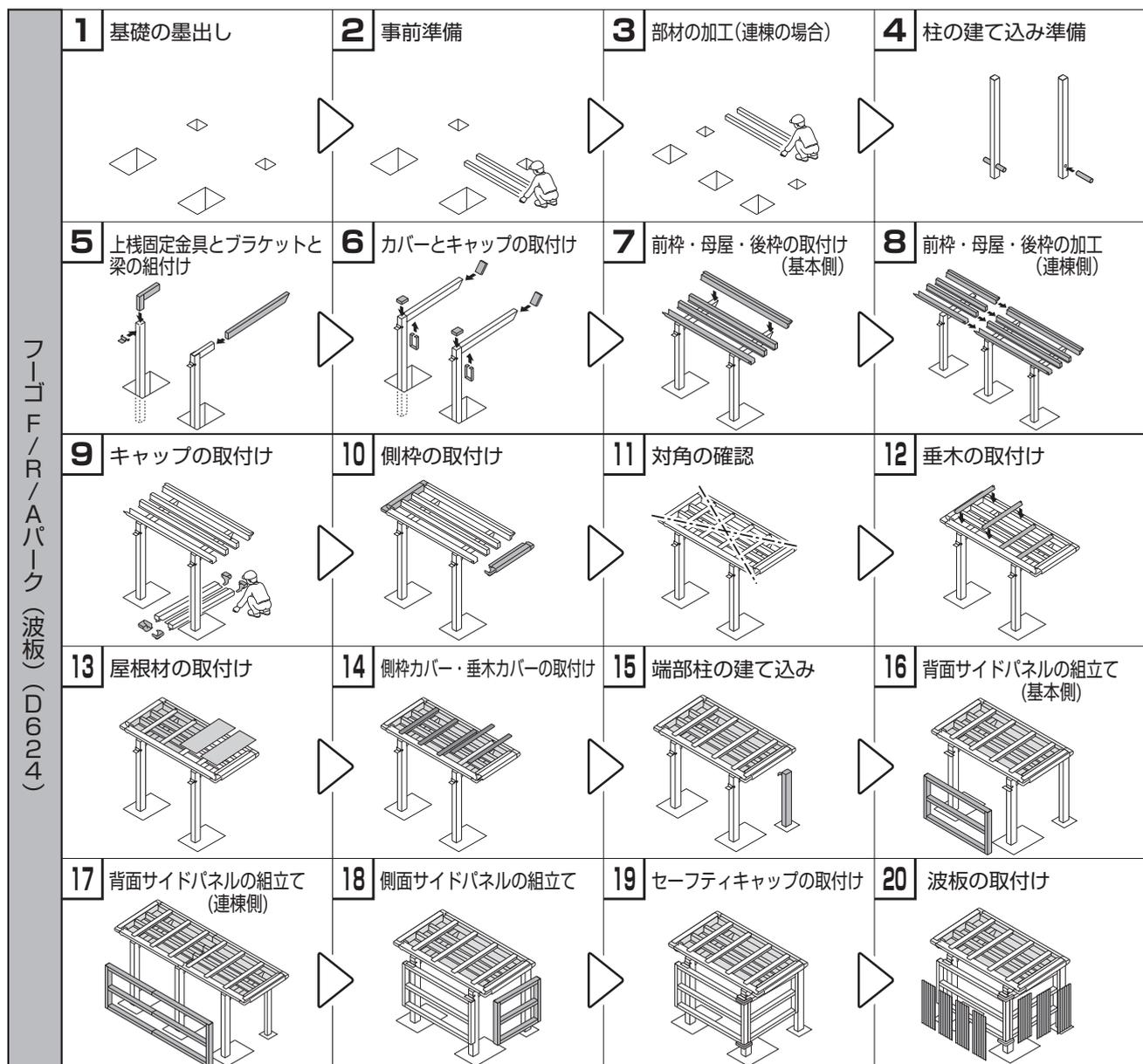
【フーゴRを施工の場合】

フーゴR/ネスカR ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書(D587)



【フーゴAを施工の場合】

フーゴA ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌 取付説明書(D589)



梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

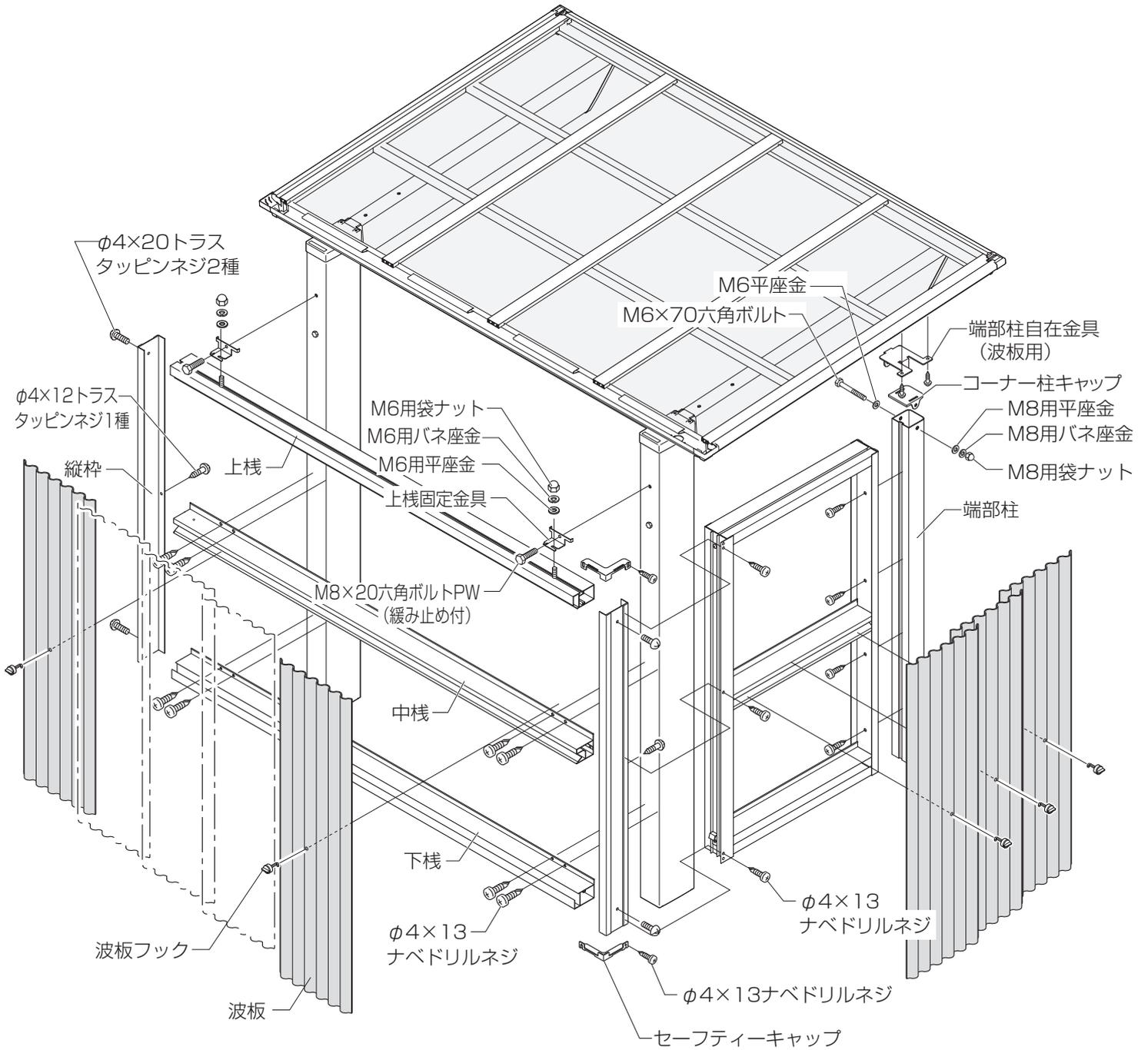
【1】波板部品セット 正面		員数	
名称	略図		
セーフティキャップ 波板用		4	
上棧固定金具 波板用		2	
波板フック		34	
穴隠しシール(φ10)		12	
[1-1] M6×10六角ボルト		2	
[1-2] M6用バネ座金		2	
[1-3] M6用袋ナット		2	
[1-4] M6用平座金		2	
[1-5] φ4×12トラスタッピンネジ1種		4	
[1-6] φ4×13ナベドリルネジ		24	
[1-7] φ4×20トラスタッピンネジ2種		4	
【2】波板部品セット 側面		員数	
名称	略図	R・F	A
コーナー柱キャップ		1	1
下棧固定金具 波板用		1	1
端部柱自在金具 (波板用)		R・F	1
コーナー柱金物		A	1
側枠 F取付部品		*1	1
波板フック		22	22
アンカー棒(φ7×120)		1	1
[2-1] M6×70六角ボルト		1	1
[2-2] M6用バネ座金		1	1
[2-3] M6用袋ナット		1	1
[2-4] M6用平座金		2	2
[2-5] φ4×12トラスタッピンネジ1種		4	4
[2-6] φ4×16ナベドリルネジ		10	13
[2-7] φ5×16ナベドリルネジ		2	1
[2-8] φ4×20トラスタッピンネジ2種		4	4
取付説明書 <D624>	-	1	1
【3】コーナー柱セット		員数	
名称	略図		
端部柱		1	

*ホワイト色には同梱されていません。

【4】波板横棧セット		員数			
名称	略図	H12 L22	H12 L29	H15 L22	H15 L29
上棧		1	1	1	1
中棧		1	1	2	2
下棧		1	1	1	1
【5】波板横棧セット 側面		員数			
名称	略図	H12	H15		
上棧 側面		1	1		
中棧 側面		1	2		
下棧 側面		1	1		
【6】波板縦枠セット		員数			
名称	略図	H12	H15		
縦枠		2	2		
【7】波板縦枠セット 側面		員数			
名称	略図	H12	H15		
縦枠		1	1		
縦枠B		1	1		
【8】波板連棟部品セット		員数			
名称	略図	H12	H15		
上下枠スリーブ 波板用		2	2		
上棧固定金具 波板用		1	1		
中棧スリーブ波板用		1	2		
波板フック		17	34		
穴隠しシール(φ10)		12	12		
[8-1] M6×10六角ボルト		1	1		
[8-2] M6用バネ座金		1	1		
[8-3] M6用袋ナット		1	1		
[8-4] M6用平座金		1	1		
[8-5] φ4×13ナベドリルネジ		30	40		
【9】母屋補強材セット		員数			
名称	略図				
母屋補強材(L=1500)		2			
[9-1] φ5×13ナベドリルネジ		8			

各部の名称

※図は  を示します。



基本寸法図

■ 単独施工

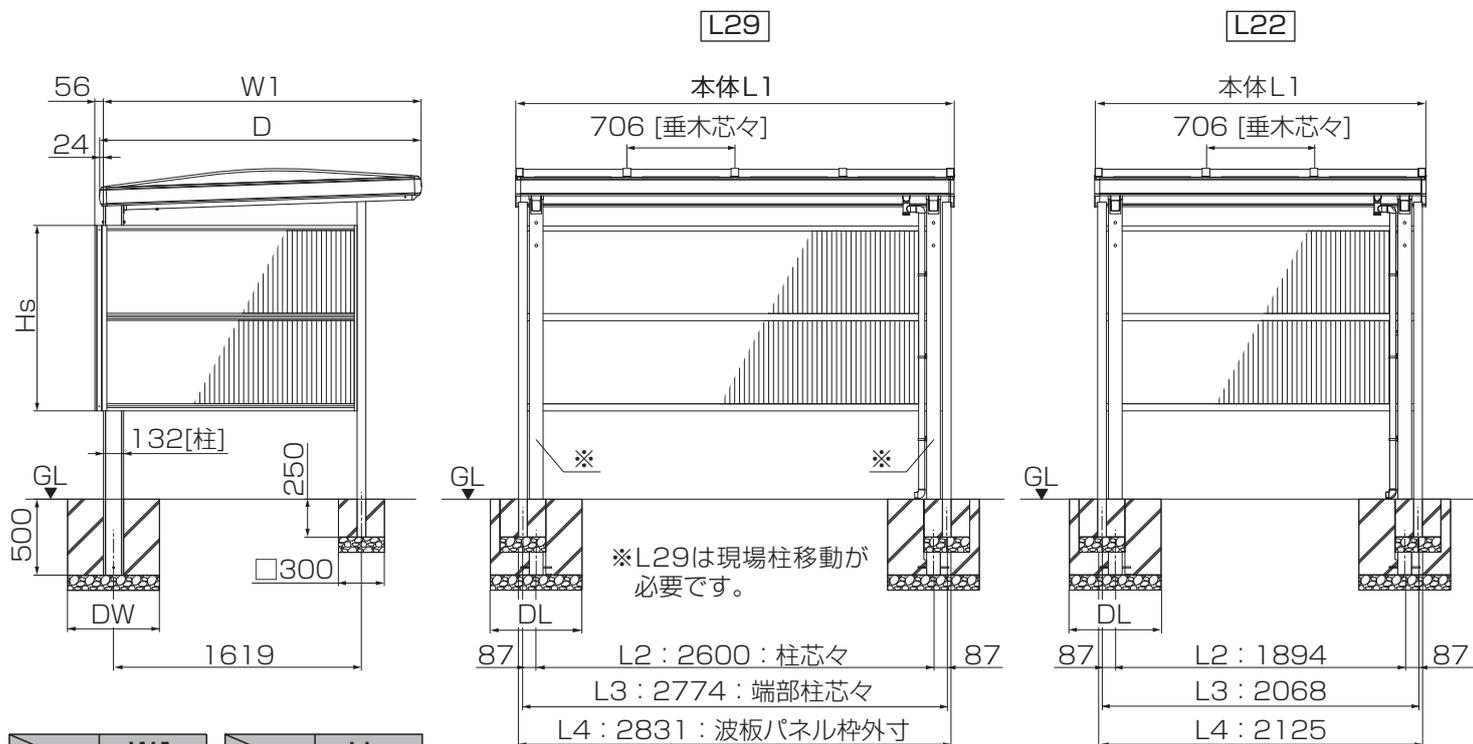
□ 姿図



[Aスタイル] の場合

お願い

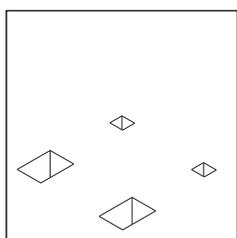
柱内の水が抜けるよう必ず碎石を敷いてください。



	W1		Hs
W18	1776	H12	1220
W21	2075	H15	1525

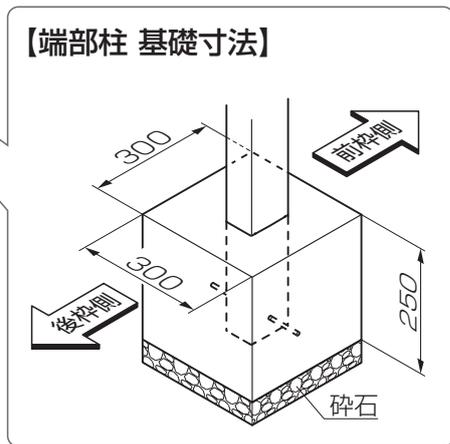
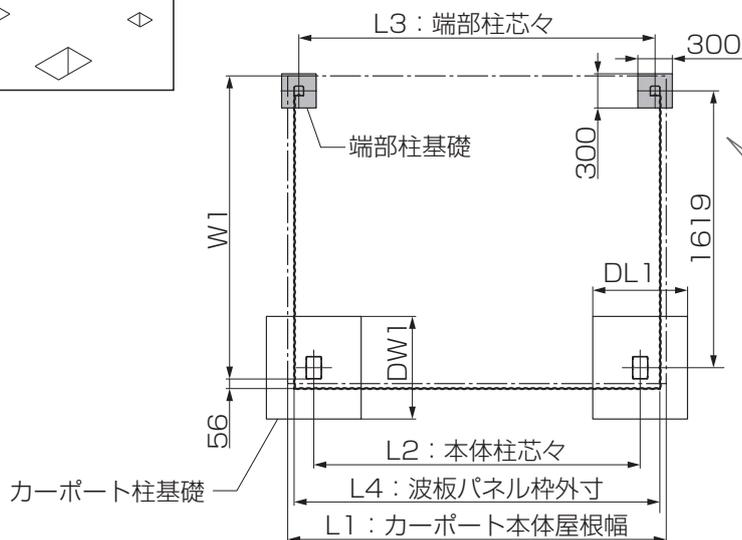
※W1は柱背面から屋根先端寸法とし、本体屋根寸法とは異なります。
 ※カーポート本体寸法はカーポート本体取付け説明書をご確認ください。

□ 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

P.9
 本体の柱基礎寸法「DW1」「DL1」は、
 「P.9」を参照してください。



単独施工

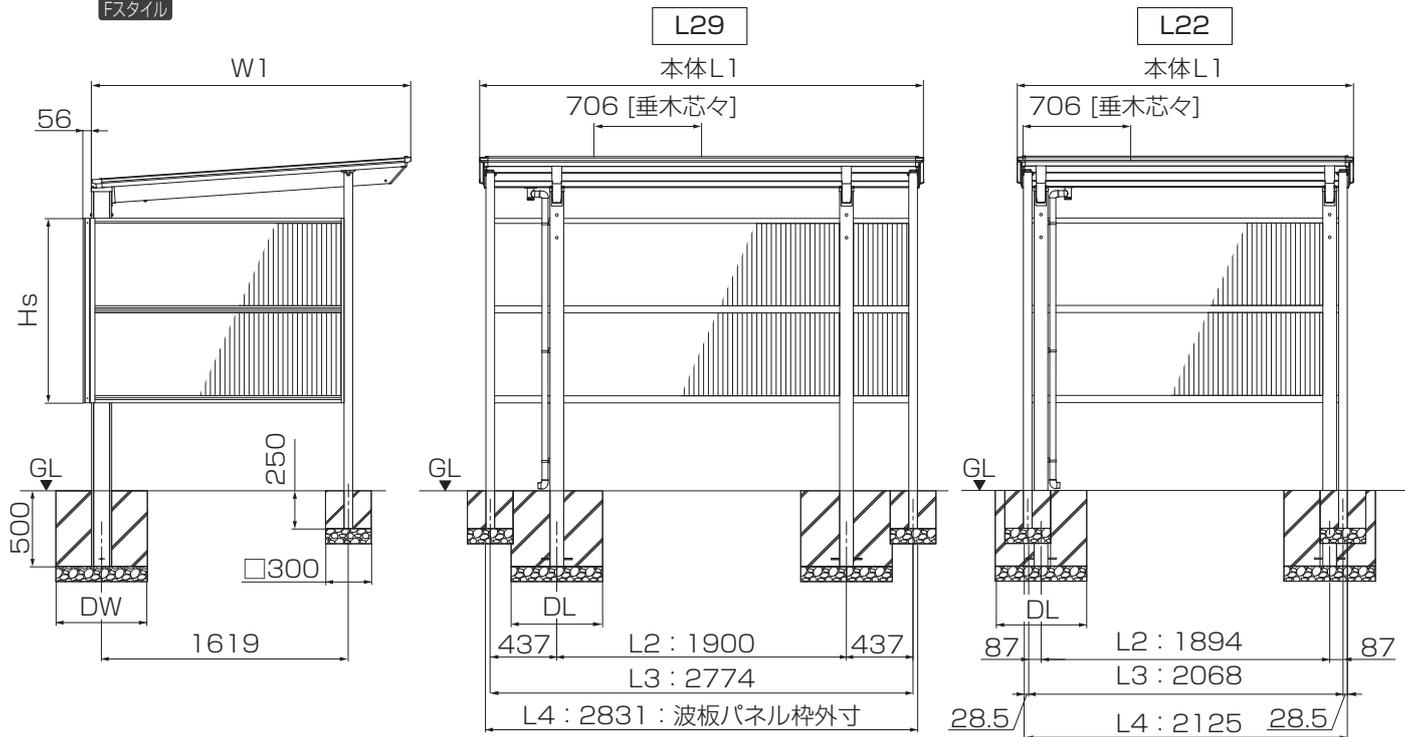
□ 姿図

F [Fスタイル] の場合
R [Rスタイル]

お願い

柱内の水が抜けるよう必ず砕石を敷いてください。

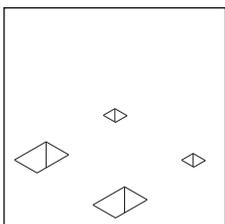
※図は **F** を示します。



	間口	W1
Fスタイル	W18	1796
	W21	2096
Rスタイル	W18	1799
	W21	2099

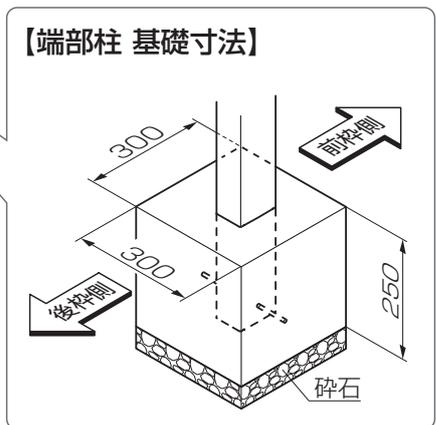
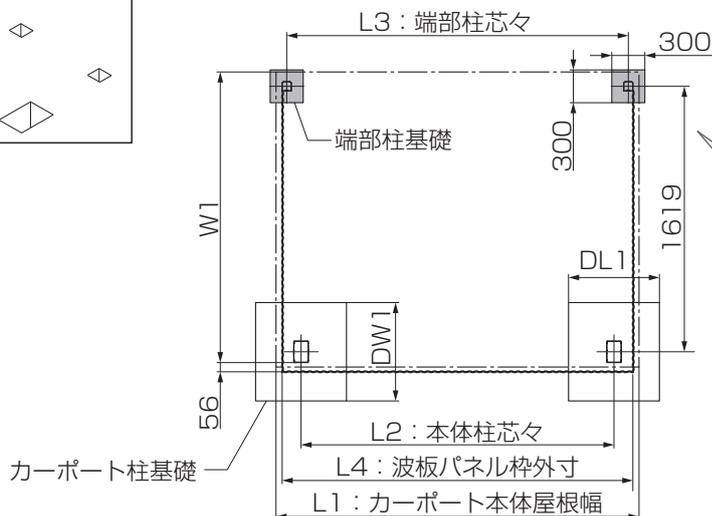
※W1は柱背面から屋根先端寸法とし、本体屋根寸法とは異なります。
 ※カーポート本体寸法はカーポート本体取付け説明書をご確認ください。

基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

P.9 本体の柱基礎寸法「DW1」「DL1」は、「P.9」を参照してください。

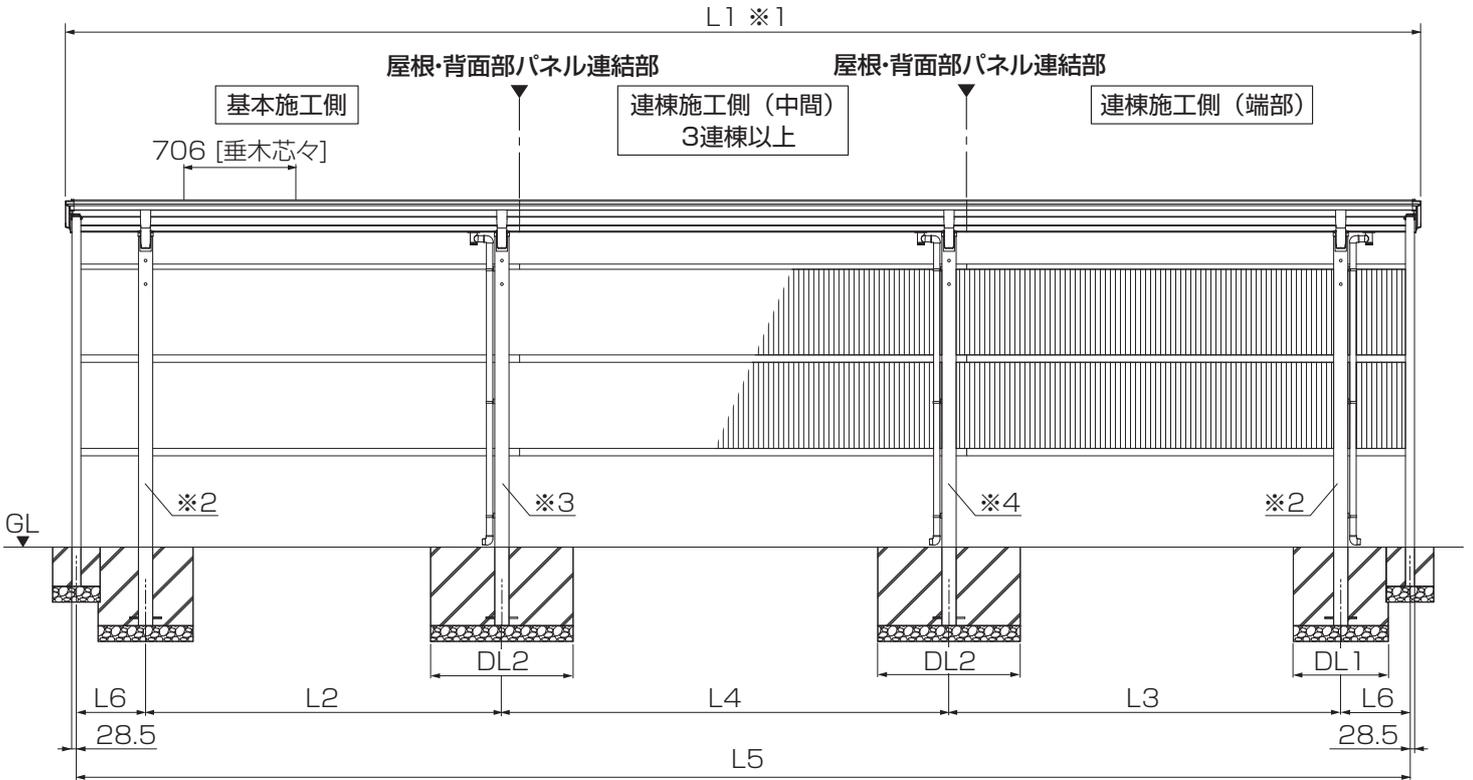


縦連棟施工

姿図

※図は右側が連棟の場合です。

※図は  を示します。



※2：AスタイルL29の場合は柱を現場加工にて移動してください。

※3：L29を基本施工側とした場合はL29の連結側の柱を現場加工にて移動してください。(A・F・R)

※4：L29を連棟施工側(中間)にした場合はL29の連結側の柱を現場加工にて移動してください。(A・F・R)

※：L22は現場柱移動(加工)はありません。(A・F・R)

F・R 連棟	L1	L2	L3	L4	L5：端部柱芯々	L6
L22+L22	※1	1894	2118	—	4186	87
L29+L29		2250	2474	—	5598	437
L22×n		1894	2118	2118	$2068+2118(n-1)$	87
L29×n		2250	2474	2824	$2774+2824(n-1)$	437

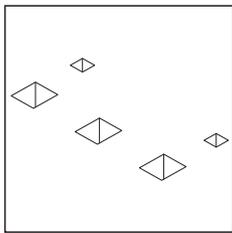
A 連棟	L1	L2	L3	L4	L5：端部柱芯々	L6
L22+L22	※1	1894	2118	—	4186	87
L29+L29		2600	2824	—	5598	87
L22×n		1894	2118	2118	$2068+2118(n-1)$	87
L29×n		2600	2824	2824	$2774+2824(n-1)$	87

※1 L1 寸法は下記各タイプ別寸法を参照してください。

本体屋根寸法

	L1			
	F	R	A	A プラス
L22+L22	4323	4274	4276	4315
L29+L29	5735	5686	5688	5727
L22×n	$4323+2118(n-2)$	$4274+2118(n-2)$	$4276+2118(n-2)$	$4315+2118(n-2)$
L29×n	$5735+2824(n-2)$	$5686+2824(n-2)$	$5688+2824(n-2)$	$5727+2824(n-2)$

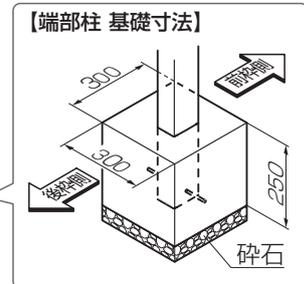
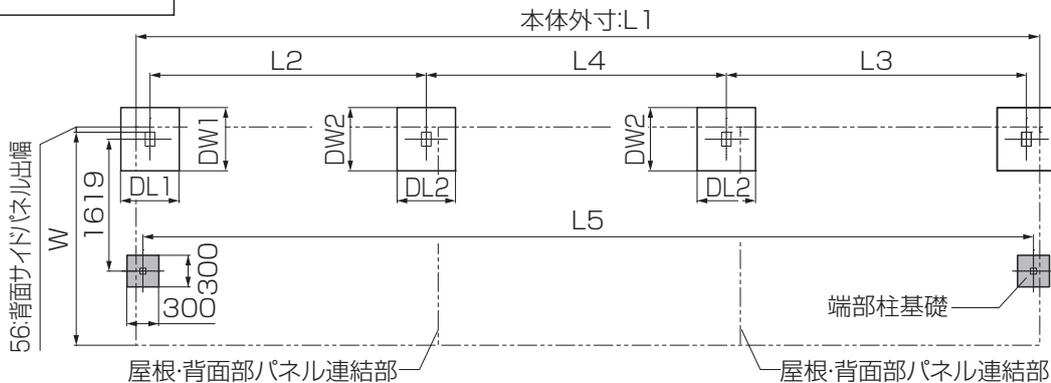
□ 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



本体の柱基礎寸法「DW1」「DL1」「DW2」「DL2」は、「P.9」を参照してください。



F・R

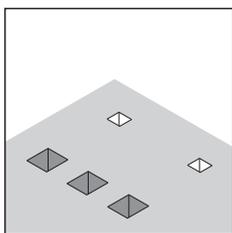
	L1	L2	L3	L4	L5：端部柱芯々
L22+L22	※1	1894	2118	—	4186
L29+L29		2250	2474	—	5598
L22×n		1894	2118	2118	2068+2118(n-1)
L29×n		2250	2474	2824	2774+2824(n-1)

A

	L1	L2	L3	L4	L5：端部柱芯々
L22+L22	※1	1894	2118	—	4186
L29+L29		2600	2824	—	5598
L22×n		1894	2118	2118	2068+2118(n-1)
L29×n		2600	2824	2824	2774+2824(n-1)

※1 L1 寸法は 8 ページ本体屋根寸法を参照してください。

1 基礎寸法の確認

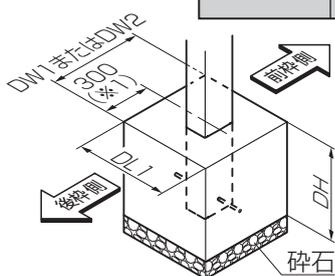


①基礎穴寸法を確認してください。

基礎サイズ

		DW1	DL1	DW2	DL2	DH
単体	W18	500	550	—	—	500
	W21	600	600	—	—	500
2連棟以上	W18	500	550	900	800	500
	W21	600	600	1000	900	500

<地耐力100 kN/m²の場合>



お願い

柱内の水が抜けるよう必ず砕石を敷いてください。

補足

(※1)は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法で、DW1、DW2が600mm以上の場合です。600mm未満の場合はDWの半分の数値としてください。



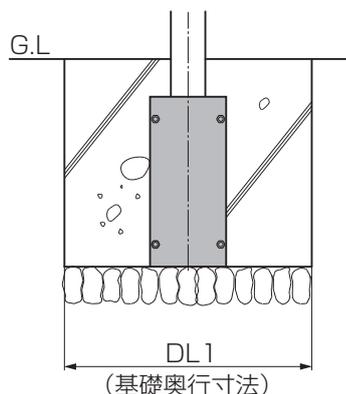
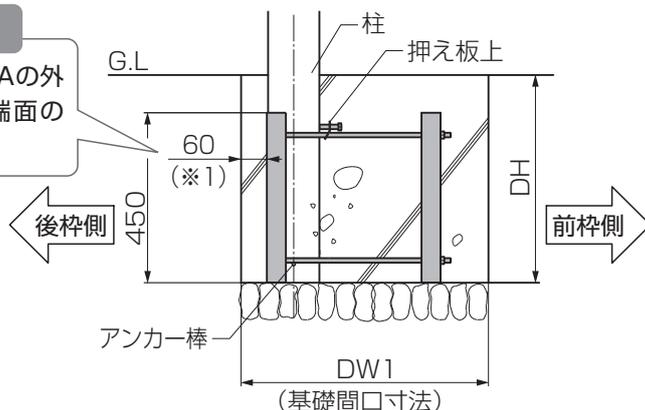
【偏心基礎部材】を取付ける場合の作業です。
<地耐力100kN/m²の場合>



組立て方法、基本寸法については
【偏心基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

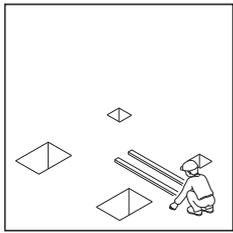
補足

※1はタテ材Aの外
面から基礎端面の
寸法です。

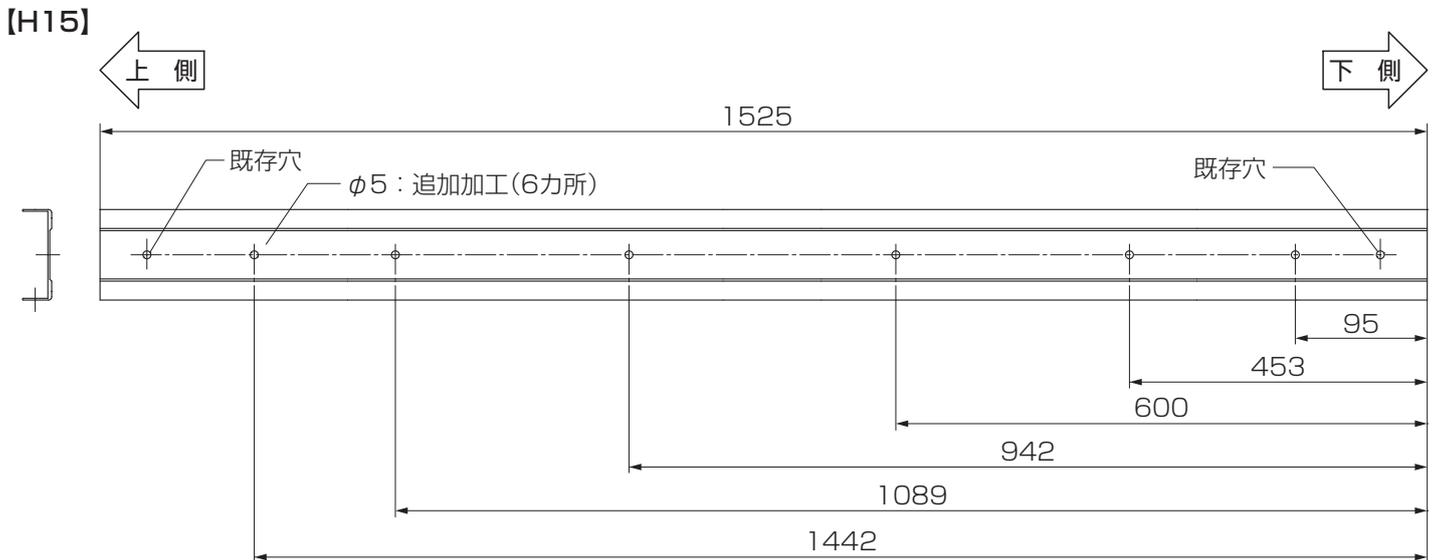
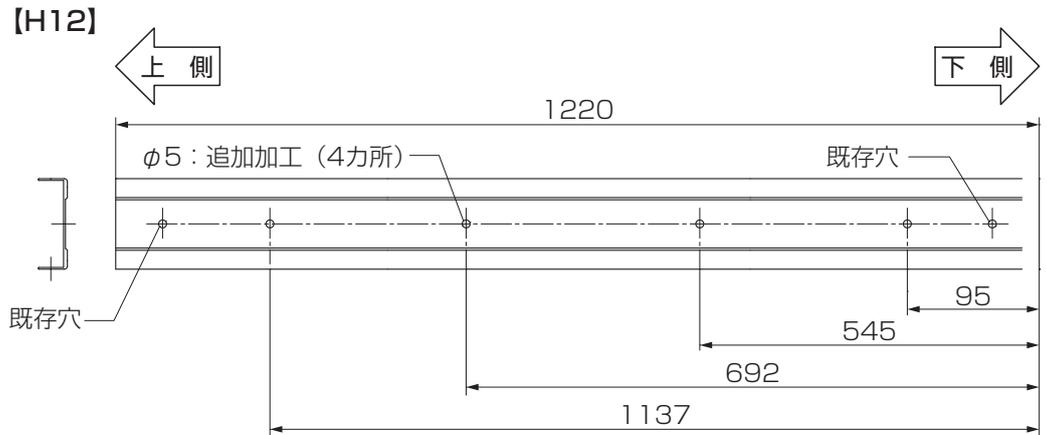


事前準備

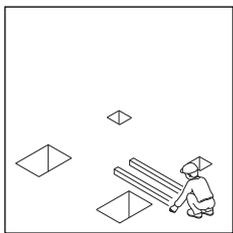
■ 縦枠(端部柱側)の加工



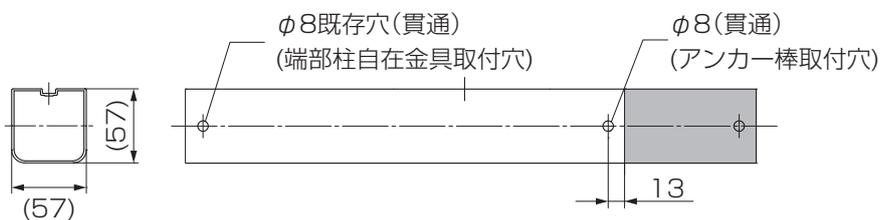
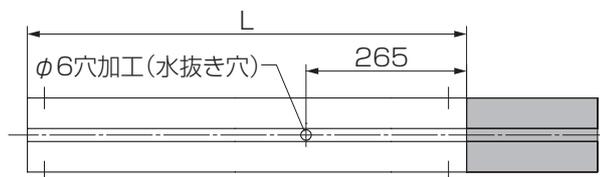
①縦枠を加工してください。



■ 端部柱の加工



①端部柱を加工してください。

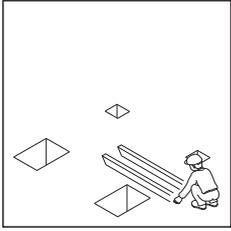


		L
Fスタイル	W18	2355
	W21	
Rスタイル	W18	2498
	W21	
Aスタイル	W18	2201
	W21	

※切断なし

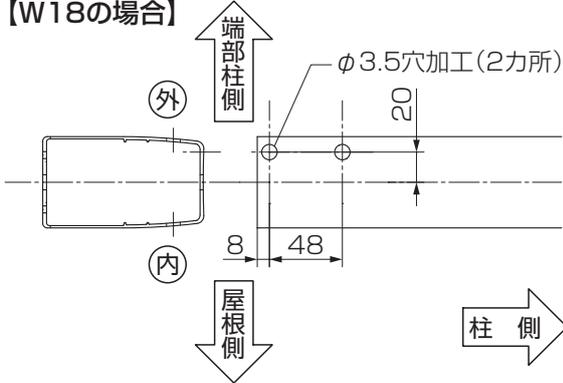
■ フーゴAパーク部材の加工

□ 梁の加工

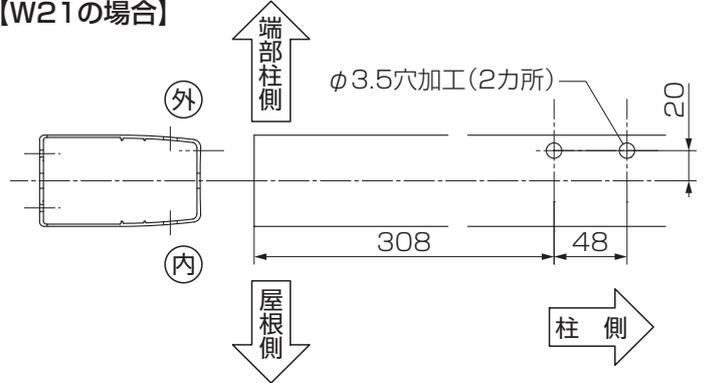


【Aスタイル】の場合の作業です。

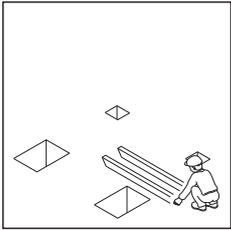
【W18の場合】



【W21の場合】



□ 前後枠・母屋の加工(L29の場合)



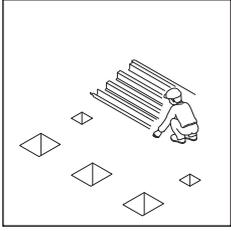
【Aスタイル】 L29 の場合の作業です。

- ①単体及び基本施工側は両端穴加工をしてください。
連棟施工側は右端部側穴加工をしてください。
(本図では前枠水上側から見て右へ連棟の場合を示します。)



■ フーゴRパーク/Fパーク部材の加工

□ 前枠・母屋・後枠の加工(L29連棟の場合)

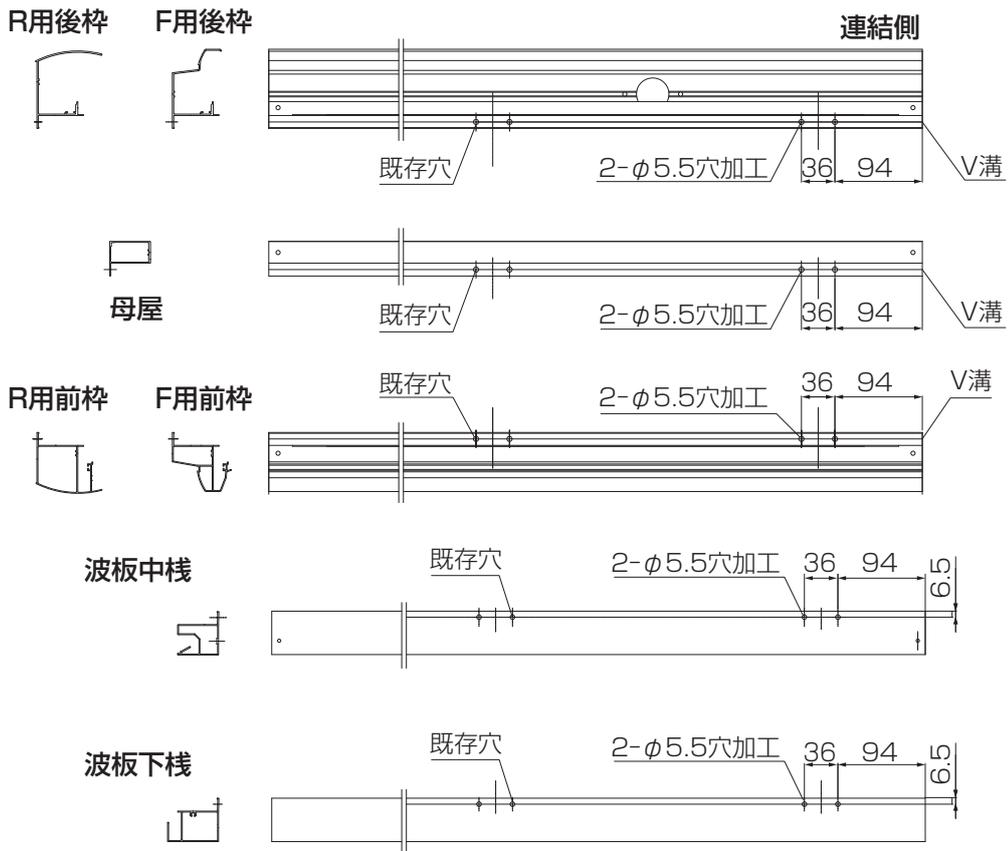


[Fスタイル] [Rスタイル] [Fスタイル] [Rスタイル] [連棟]の場合の作業です。

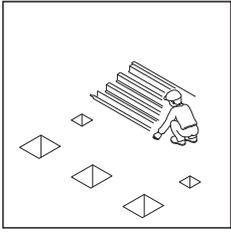
補 足

- ・ L29連棟の場合、連結側の柱・梁の位置が変わりますので、加工が必要になります。L22連棟の場合は加工は不要です。
- ・ 図は、前枠側から見て基本施工側の右に連棟する場合を示します。左に連棟する場合は、左右逆の加工になります。

①後枠・前枠・母屋・波板中棧・波板下棧に穴加工をしてください。



■ 前枠・母屋・後枠の加工



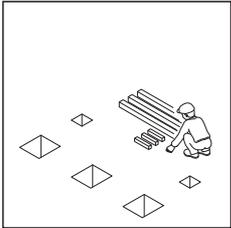
【連棟】の場合の作業です。



前枠・母屋・後枠の連結部穴加工は【カーポート本体の取付説明書】を参照してください。

①前枠・母屋・後枠に穴加工とスリーブ取付けを行なってください。

■ 上棧・中棧・下棧の加工と連結スリーブの取付け



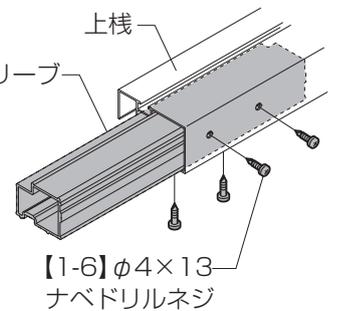
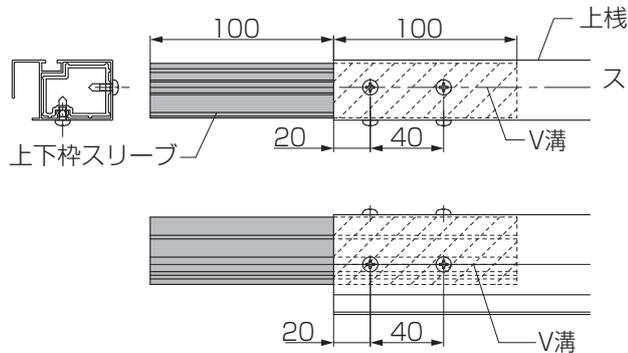
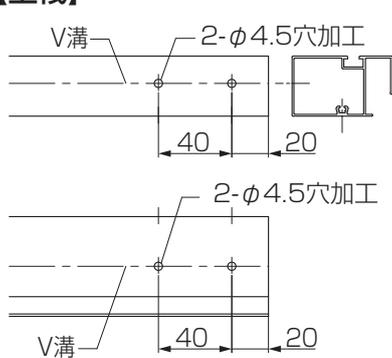
【連棟】の場合の作業です。



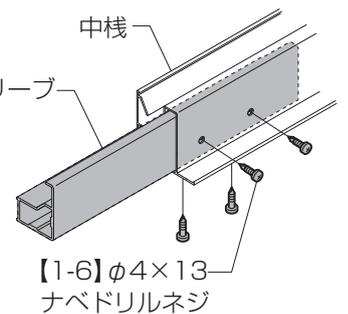
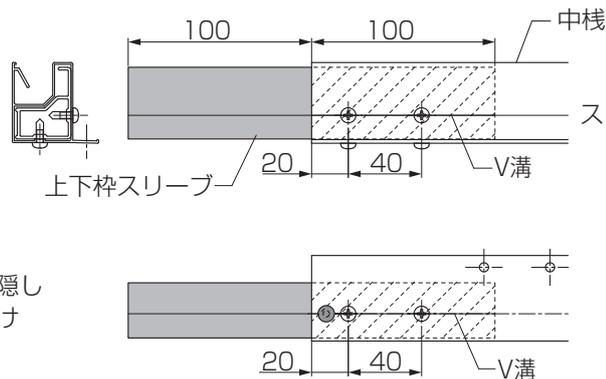
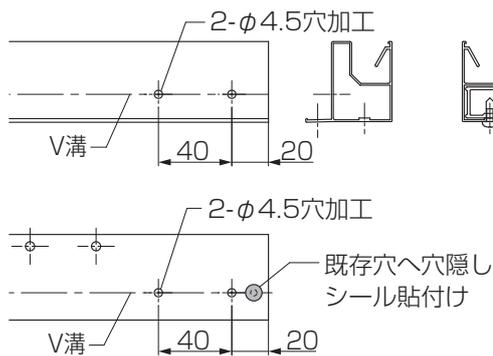
部材の連結・取付けは【P.17、P.18】を参照してください。

- ①上棧・中棧・下棧の連結部に $\phi 4.5$ 穴加工をしてください。
- ②中棧の既存穴へ穴隠しシールを貼付けてください。
- ③片側の上棧・中棧・下棧にスリーブを【1-6】で取付けてください。

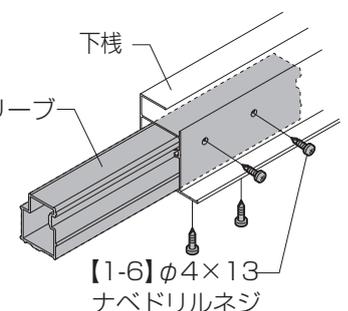
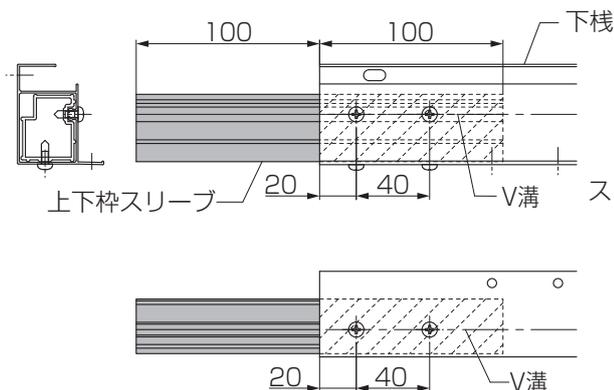
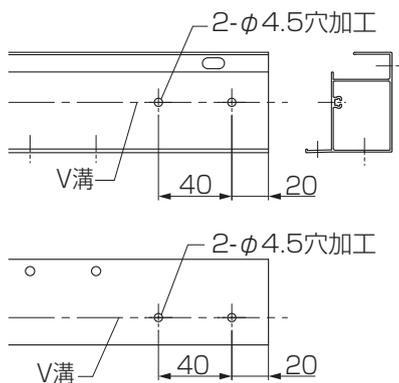
【上棧】



【中棧】



【下棧】



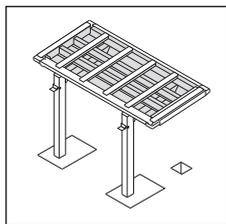
本体の施工

■ 基本の場合



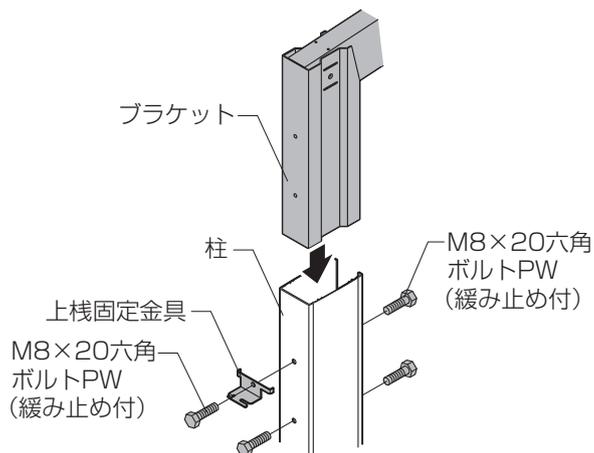
「カーポート本体の取付説明書」を参照してください。

1 上棧固定金具の取付け



「カーポート本体の取付説明書」の柱・梁の組立てと同時に作業してください。

- ① ブラケットを柱に差込んでください。
- ② 上棧固定金具を柱に「M8×20六角ボルト」で固定してください。
- ③ ブラケットを柱に「M8×20六角ボルト」で固定してください。



■ 連棟の場合

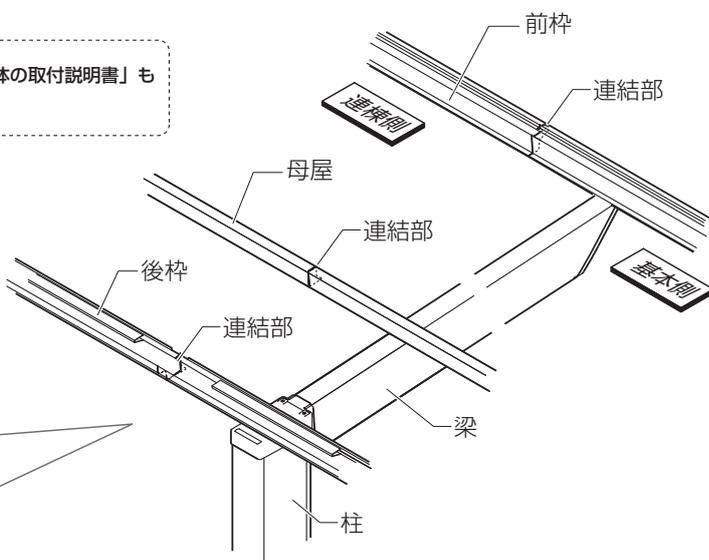
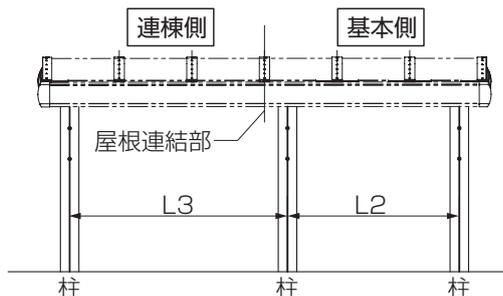
1 連棟部の確認



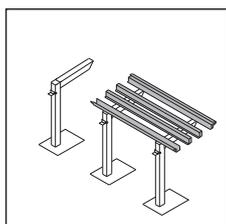
連棟施工の場合は「カーポート本体の取付説明書」も参照してください。

補足

パーク仕様での縦連棟の場合は、連結部の柱の施工および基礎サイズがカーポート連棟仕様と異なります。

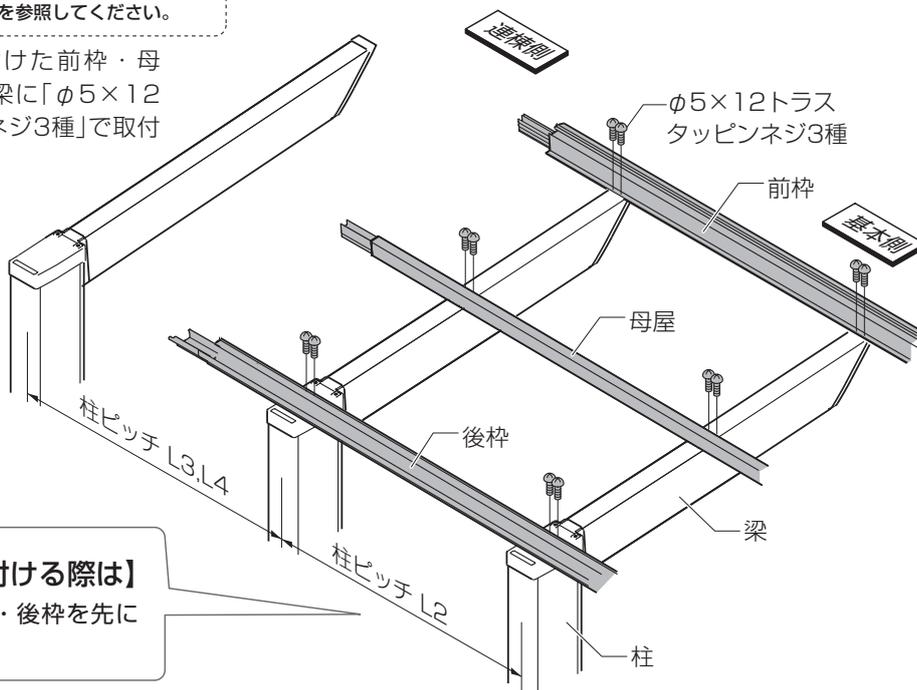


2 前枠・母屋・後枠の取付け(基本側)



柱の建て込み準備～柱梁カバー・梁キヤップまでの手順は「カーポート本体の取付説明書」を参照してください。

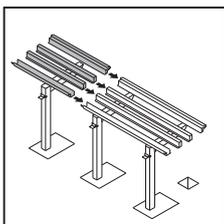
- ① スリーブを取付けた前枠・母屋・後枠を柱・梁に「φ5×12トラスタッピンネジ3種」で取付けてください。



お願い

【前枠・母屋・後枠を取付ける際は】
柱ピッチL2側の前枠・母屋・後枠を先に取付けてください。

2 前枠・母屋・後枠の取付け(連棟側)

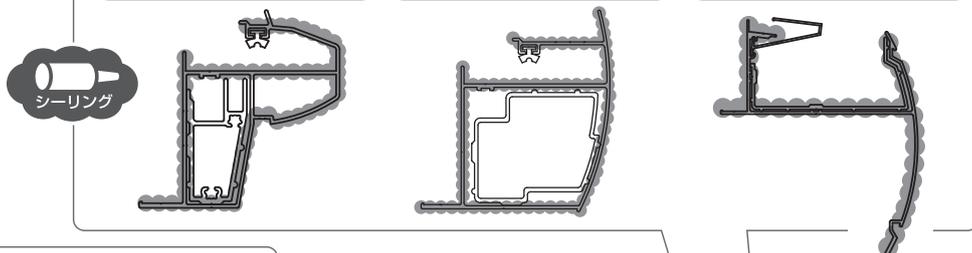


- ①前枠・母屋・後枠の連結部にシーリングをしてください。
- ②連棟側の前枠・母屋・後枠をスリーブに「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ③連棟側の前枠・母屋・後枠を柱・梁に「φ5×12トラスタッピンネジ3種」で取付けてください。

[Fスタイル]の場合
Fスタイル

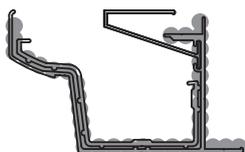
[Rスタイル]の場合
Rスタイル

[Aスタイル]の場合
Aスタイル

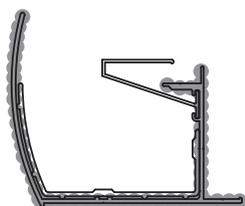


シーリング

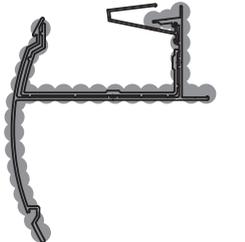
[Fスタイル]の場合
Fスタイル



[Rスタイル]の場合
Rスタイル

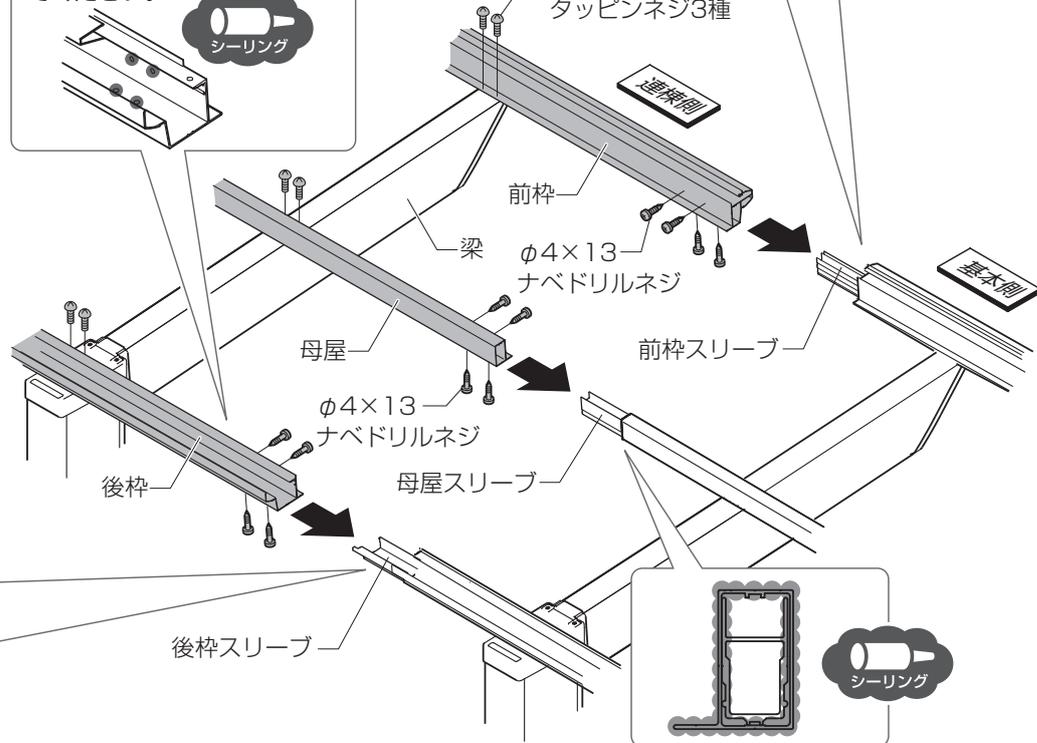


[Aスタイル]の場合
Aスタイル



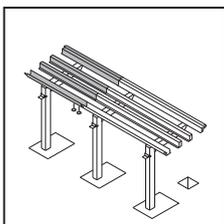
【後枠を連結する際は】
後枠の加工穴にシーリング材を充てんしてからネジ止めしてください。

シーリング



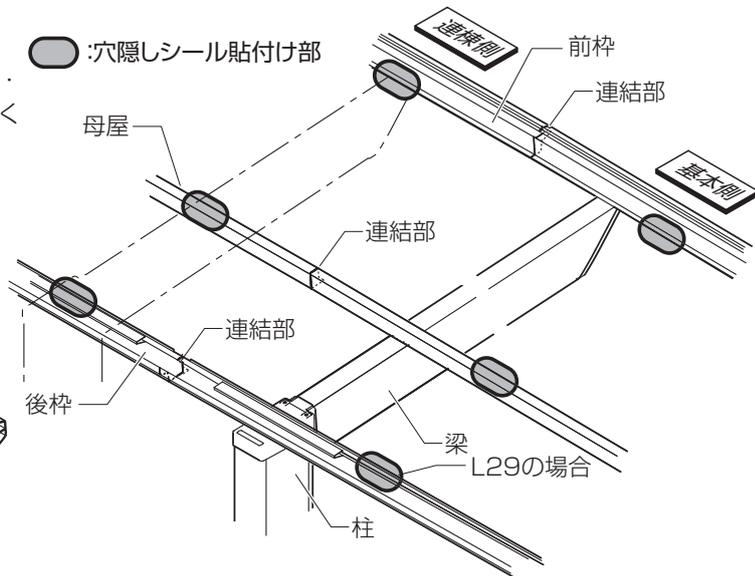
シーリング

3 連棟部穴隠しシールの貼付け

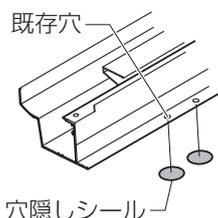


- ①穴隠しシールを柱・梁にのらない前枠・母屋・後枠の連結部既存穴に貼付けてください。

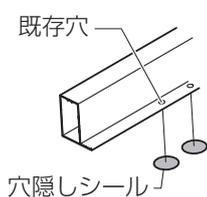
○:穴隠しシール貼付け部



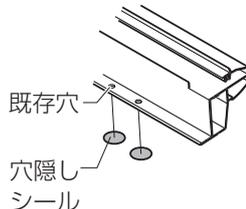
【後枠】



【母屋】



【前枠】



パーク(波板)の取付け

1 端部柱の建込み(Aスタイルの場合)



【Aスタイル】の場合の作業です。

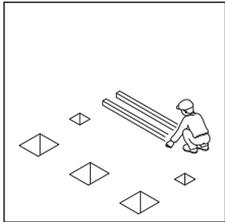
お願い

側面サイドパネルの位置出しを行ってから、コーナ柱取付金具を取付けてください。

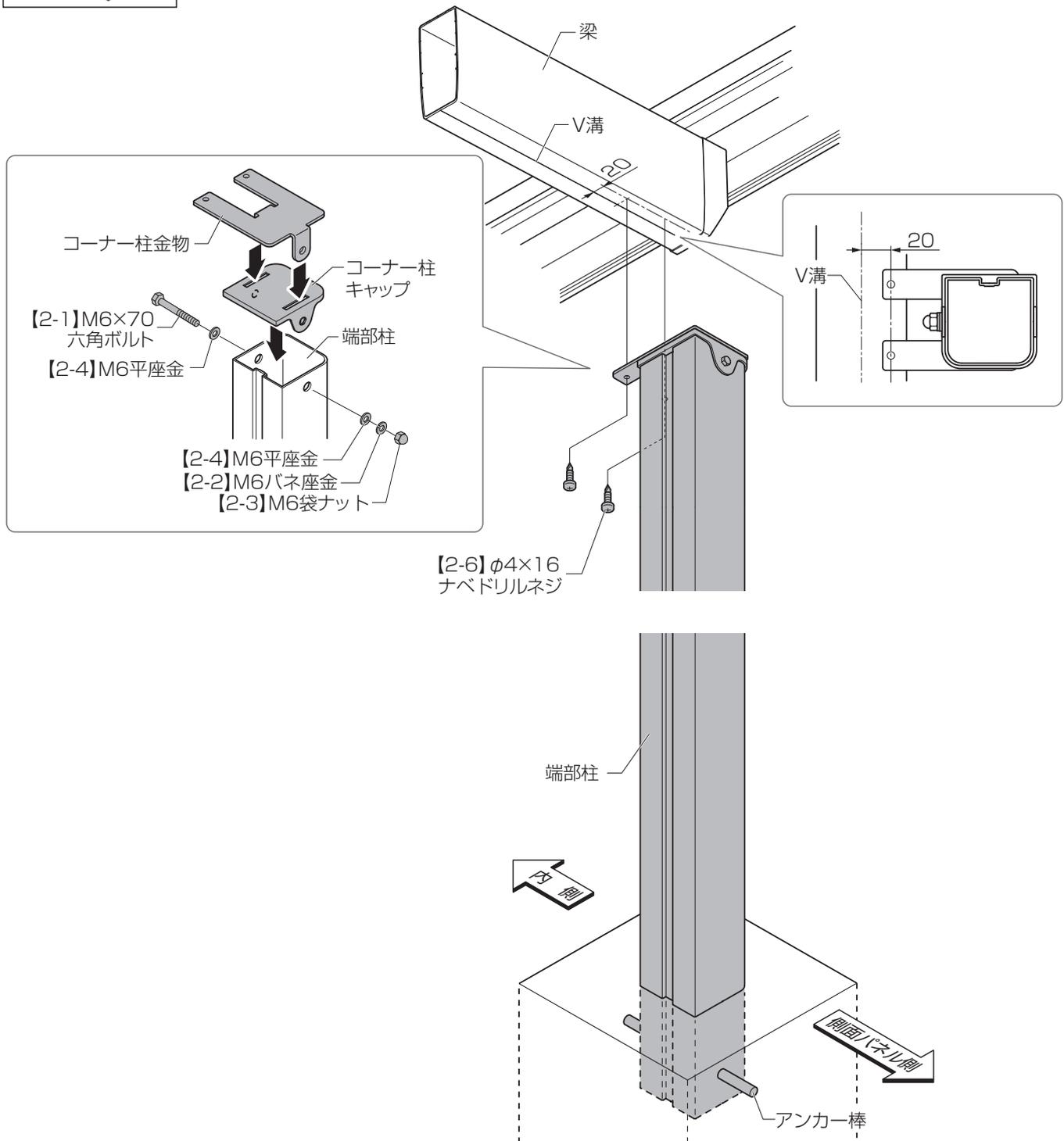


P.5 柱の設置位置は「基本寸法図」を参照してください。

1 上部部品の取付け



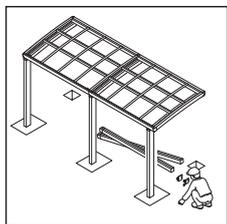
- ①コーナ柱キャップ、コーナ柱金物を端部柱に【2-1】【2-2】【2-3】【2-4】で取付けてください。
- ②アンカー棒を端部柱に差し込んでください。
- ③端部柱を建て込んでください。
- ④端部柱を本体の梁に【2-6】で取付けてください。



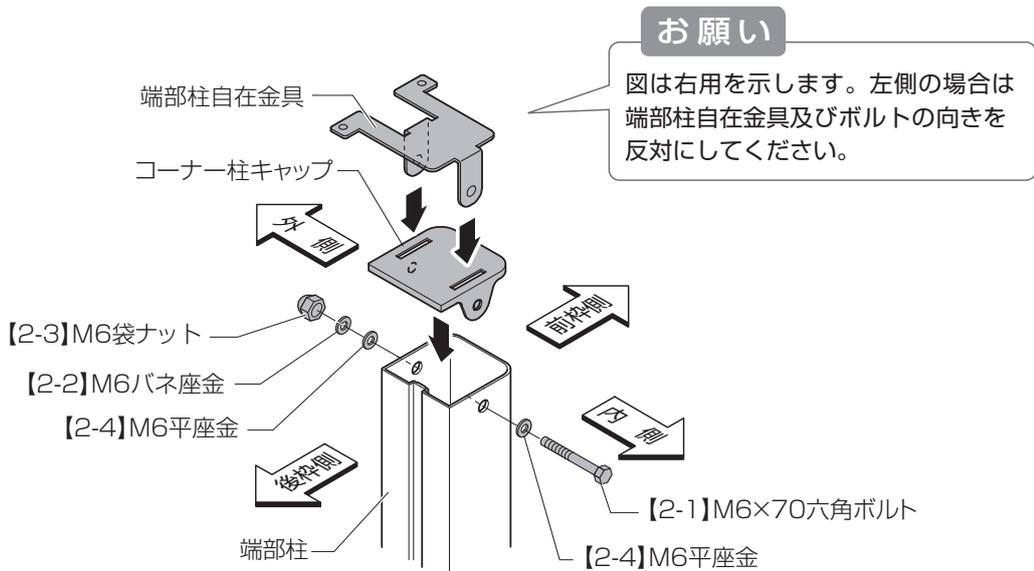
1 端部柱の建込み(F・Rスタイルの場合)



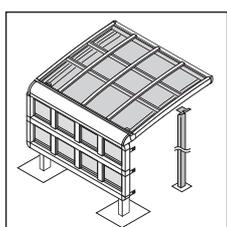
1 上部部品の取付け



①コーナー柱キャップ、端部柱自在金具を端部柱に【2-1】【2-2】【2-3】【2-4】で取付けてください。

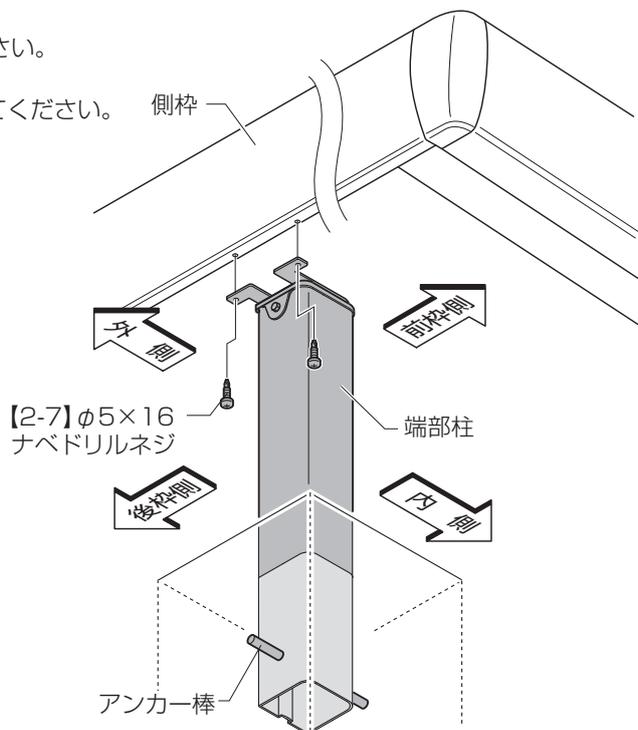


2 端部柱の建て込み



①アンカー棒を端部柱に差し込んでください。
 ②端部柱を建て込んでください。
 ③端部柱を本体の側枠に【2-7】で取付けてください。

※図は  を示します。

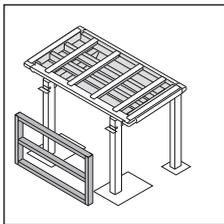


お願い

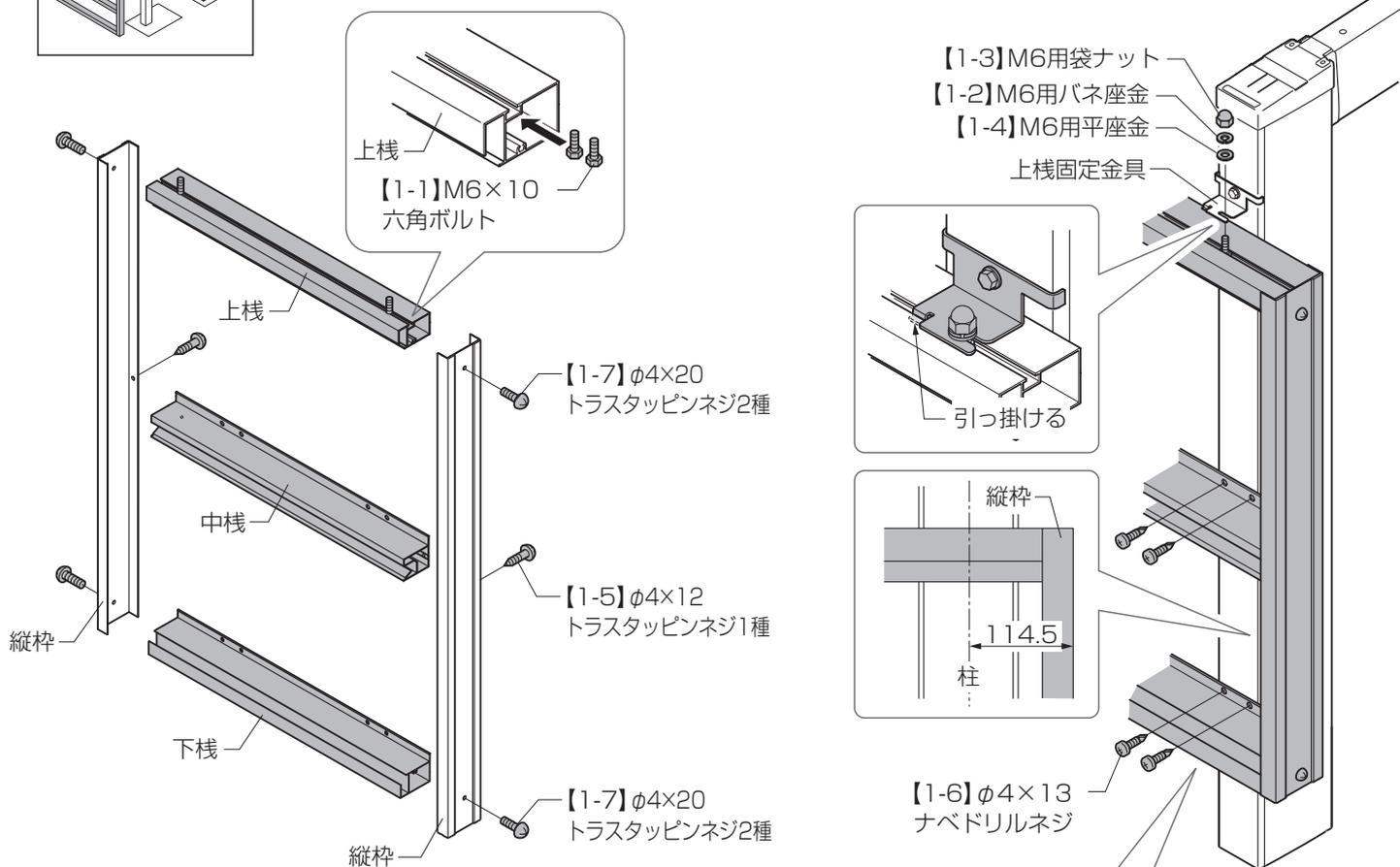
Fスタイルの場合は、部品仮止めテープをはがしてください。

2 背面サイドパネルの取付け

□基本施工の場合



- ①上棧に【1-1】を2本挿入してください。
- ②縦枠と上棧、中棧、下棧を【1-5】【1-7】で組立ててください。
- ③上棧のボルトを上棧固定金具に【1-2】【1-3】【1-4】で取付けてください。
- ④中棧、下棧を柱に【1-6】で取付けてください。



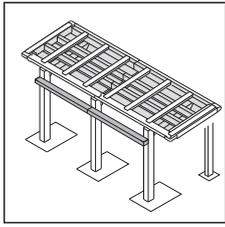
お願い

背面サイドパネルを組み付ける際、必ず柱・縦枠の垂直、上・中・下棧の水平を確認してください。波板を正しく組み付けできなくなります。

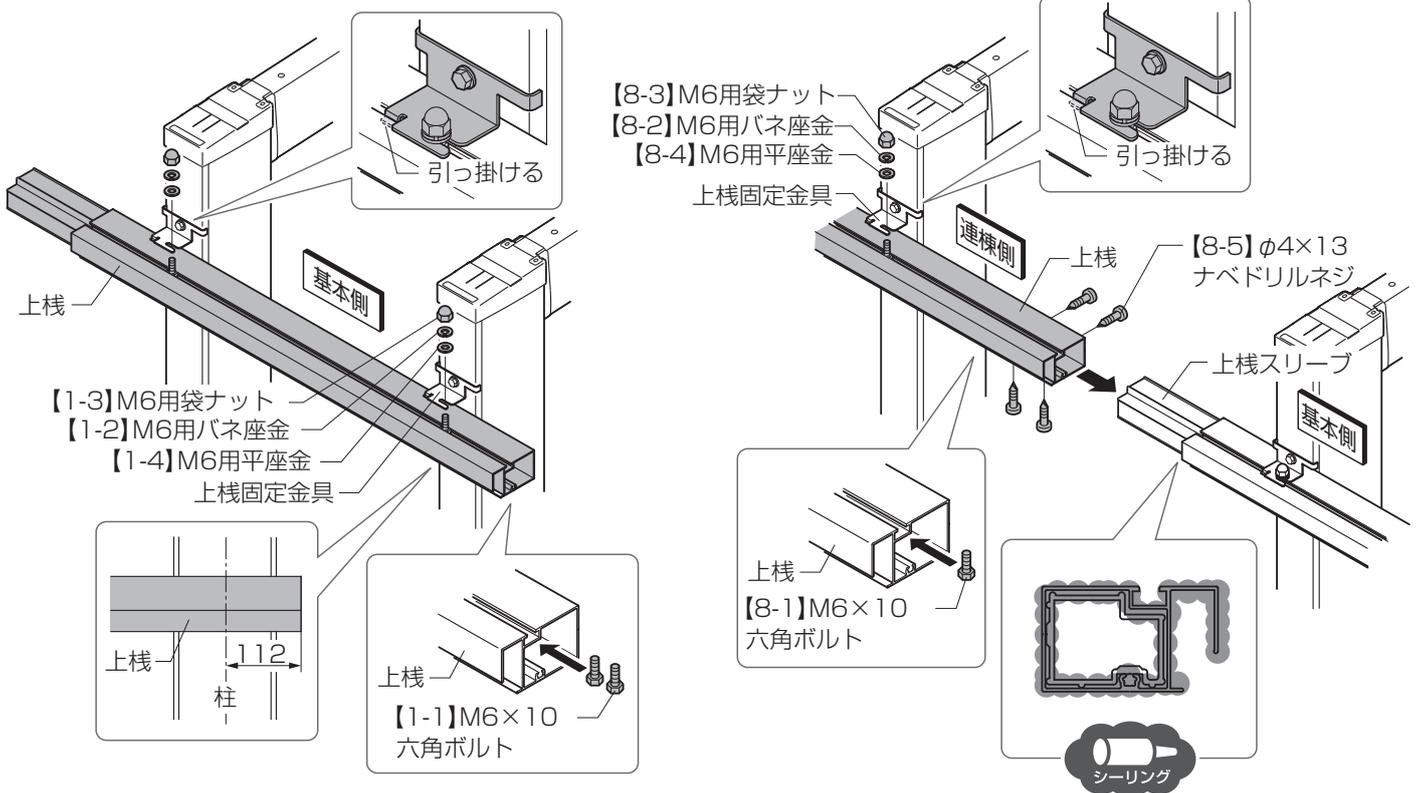
MEMO

□連棟施工の場合

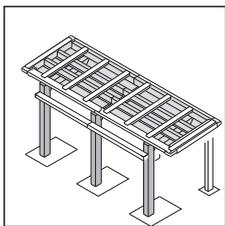
(1) 上栈の取付け



- ①基本側の【1-1】を上栈に2本挿入してください。
- ②基本側の上栈を上栈固定金具に【1-2】【1-3】【1-4】で取付けてください。
- ③連棟側の【8-1】を1本挿入してください。
- ④基本側の上栈スリーブの連結部にシーリングを充てんしてください。
- ⑤上栈を上栈スリーブに【8-5】で取付けてください。
- ⑥上栈固定金具に連棟側の上栈を【8-2】【8-3】【8-4】で取付けてください。

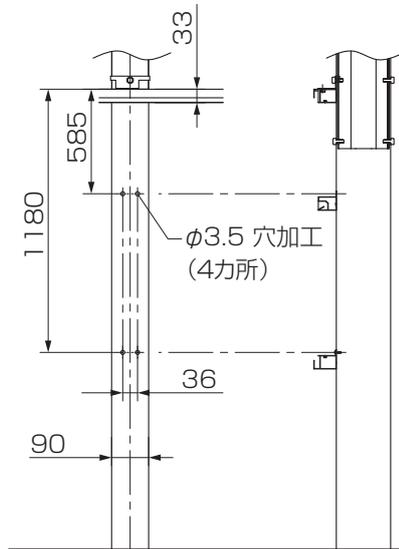


(2) 柱の加工

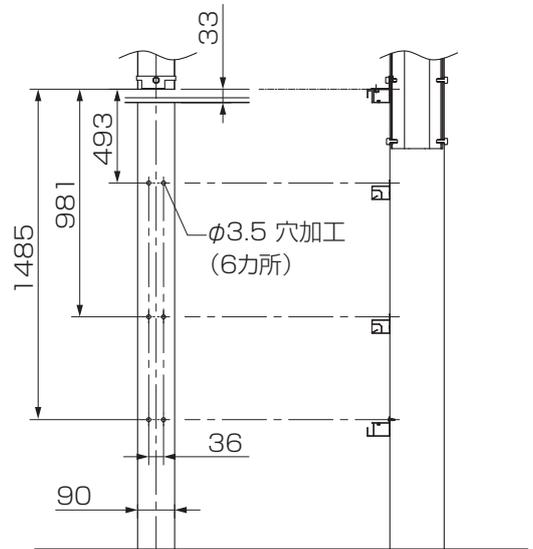


- ①柱に取付けた上栈の上面から中栈・下栈の取付穴の加工位置を測り、柱にφ3.5の穴をあけてください。

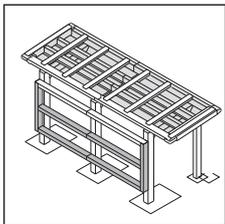
【H12の場合】



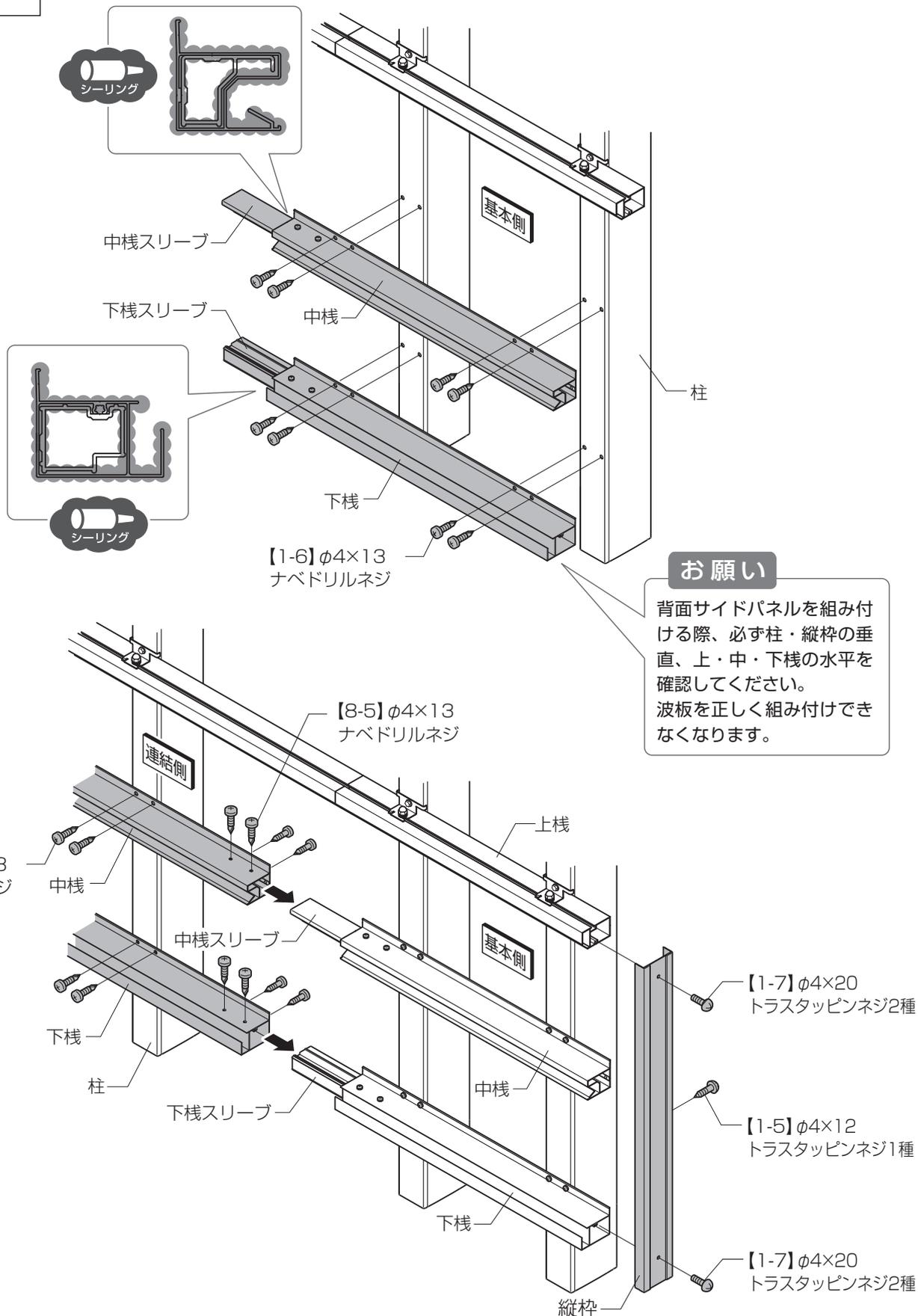
【H15の場合】



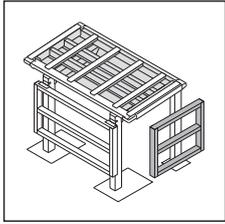
(3) 中棧・下棧・縦枠の取付け



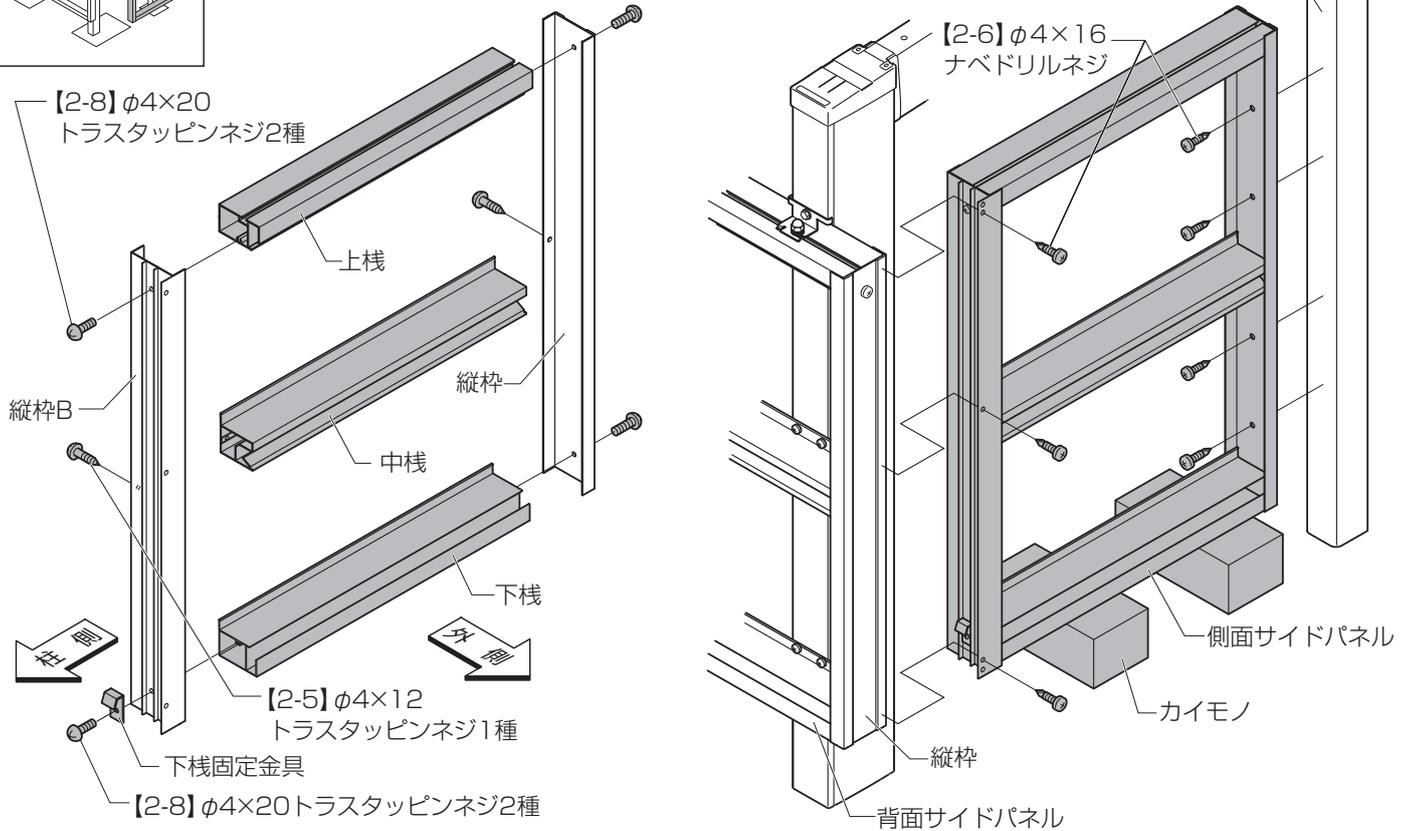
- ①基本側の中棧・下棧を柱に【1-6】で取付けてください。
- ②基本側の中棧スリーブと下棧スリーブの連結部にシーリングを充てんしてください。
- ③連結側の中棧と下棧を中棧スリーブと下棧スリーブに【8-5】で取付けてください。
- ④連結側の中棧・下棧を柱に【8-5】で取付けてください。
- ④縦枠を上棧・中棧・下棧に【1-5】【1-7】で取付けてください。



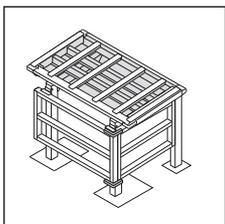
3 側面サイドパネルの組立て



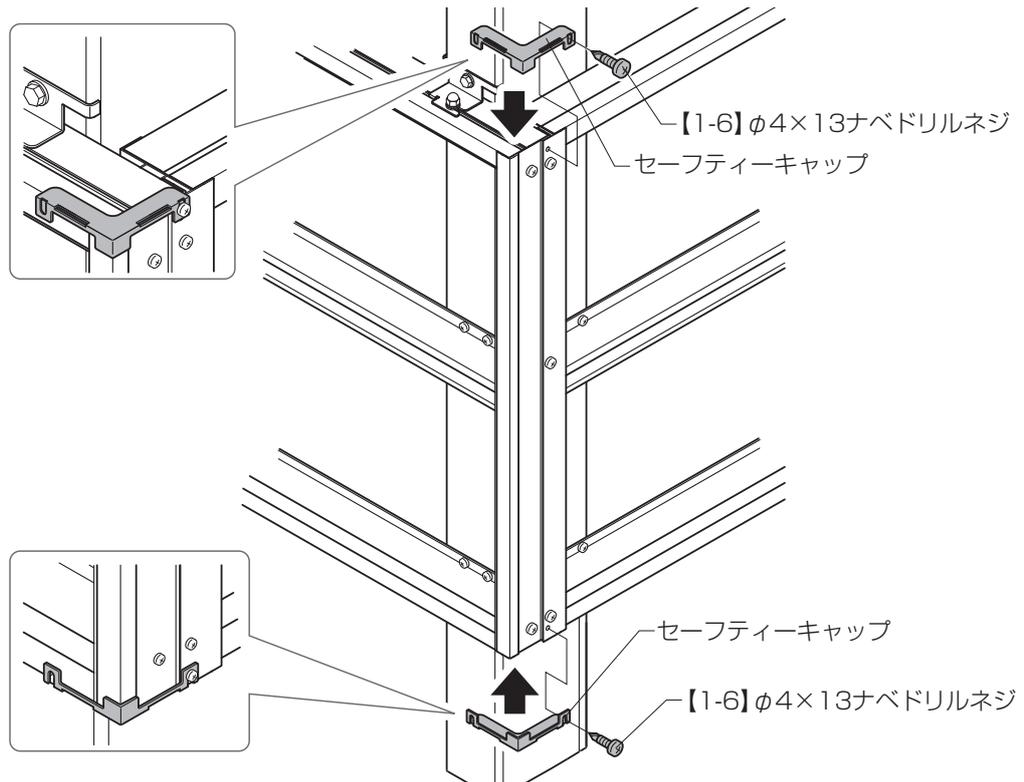
- ①縦枠、縦枠Bと上棧・中棧・下棧・下棧固定金具を【2-5】【2-8】で組立ててください。
- ①カイモノを設置して、下棧固定金具を背面パネルに引っ掛けてください。
- ②側面サイドパネルを背面サイドパネルの縦枠に【2-6】で固定してください。
- ③側面サイドパネルを端部柱に【2-6】で取付けてください。



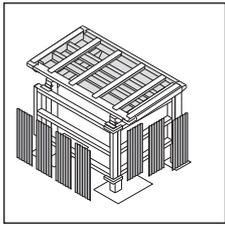
4 セーフティーキャップの取付け



- ①セーフティーキャップをサイドパネルのコーナー部に【1-6】で取付けてください。



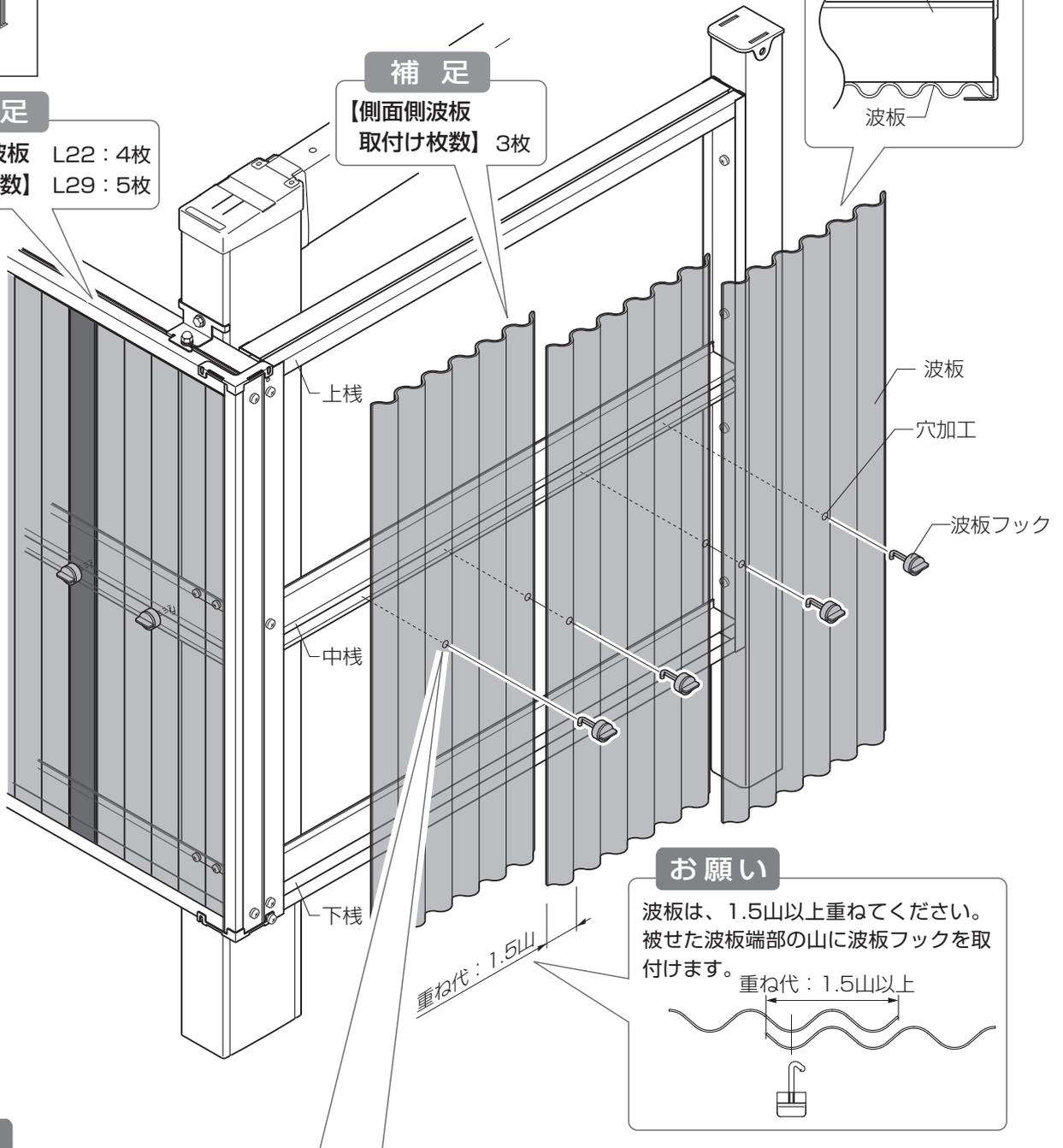
5 波板の取付け



- ①波板を上棧・下棧に差し込んでください。
- ②波板に波板フック取付用のφ5穴加工をしてください。
- ③波板フックを波板・中棧に取付けてください。

補足
【背面側波板 L22 : 4枚
取付け枚数】 L29 : 5枚

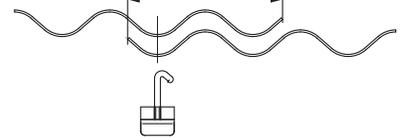
補足
【側面側波板
取付け枚数】 3枚



お願い

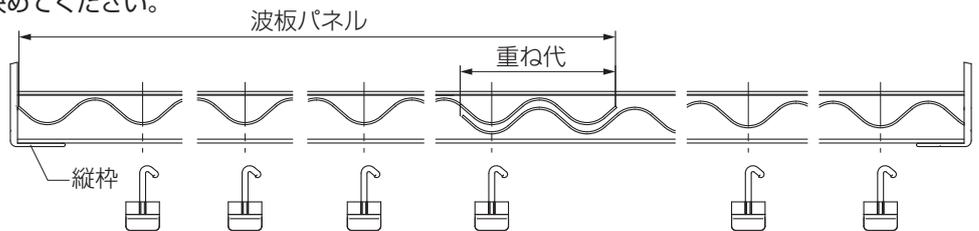
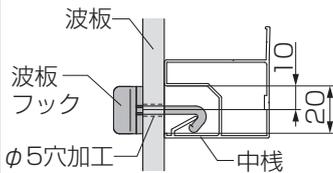
波板は、1.5山以上重ねてください。被せた波板端部の山に波板フックを取付けます。

重ね代：1.5山以上



お願い

中棧の溝を目安に穴加工位置を決めてください。



取説コード
D624
JZZ630209D
201504A_1039
202311E_1049